

働くパパ・ママを応援します

学童保育で放課後も安心!

各地域の実情に応じて学童保育施設を拡充しています。平成30年4月に岱明地区に2クラブ増設、同年10月に玉名町地区と築山地区にそれぞれ1クラブを増設しました。学童保育の実施により、保護者が安心して働ける環境を整備するとともに、安全な環境で健全な児童の育成を目指しています。

学童保育施設の増設数

平成29年度…14クラブ 随時拡充
平成30年度…**18クラブ** しています!



小規模保育事業を導入しました!

令和元年度に小規模保育事業を1施設導入し、令和2年度には、さらに1施設導入。子どもの受入枠を増やし、待機児童の解消に取り組んでいます。

また、保育士就労支援にも取り組んでおり、すべての子どもたちが良質な保育を受けられる環境づくりを進めています。

保育施設利用定員数の推移

平成29年度…1,700名
平成30年度…1,807名
令和元年度…**1,829名**



子ども医療費の窓口負担を軽減

平成30年10月診療分から、中学3年生までの県内での外来診療分については、原則医療費を支払うことなく医療サービスを受けることができるようになりました。

利用者の声

病気の小さな子どもを抱えての支払いや手続きがなくなり、便利になりました。また、急に子どもの体調が悪くなったときでも、医療費の負担を気にせず受診できるようになりました。



一般不妊治療費の助成開始

令和元年10月から、一般不妊治療のうち人工授精に要する費用の一部助成を始めました。不妊治療の経済的負担を軽減し、誰もが子どもを産み育てやすい環境づくりを進めます。



より良い学びの環境づくり



小中学校のトイレの洋式化を推進

子どもたちが快適な環境で楽しく学校生活を送れるよう、トイレの洋式化を進めています。平成30年度に21基、令和元年度に20基のトイレを和式から洋式へと変更し、今年度も20基を洋式化する予定です。



玉名市の小中学校のトイレ洋式化率

平成28年度…31.9%
平成30年度…43.6%
令和元年度…**46.5%**

外国語教育のバージョンアップ

令和2年度から全面実施となった小学校第3・4学年の外国語活動、第5・6学年の外国語の教科化に向けて、令和元年8月からALTを1人増員しました。実践的なコミュニケーション能力を伸ばし、英語で自らの意見を述べ、グローバルに活躍できる人材の育成を目指します。



ALTの人数 平成30年度…6名 ⇒ 令和元年度…7名へ

ALTの小中学校への派遣延べ日数

平成29年度…1,039日、平成30年度…1,083日
令和元年度…**1,183日**



誰もが住みよい福祉のまちへ

目指すは「認知症に 日本一理解のあるまち」!



玉名市では、認知症に関する舞台公演や、「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症の理解に力を入れています。また、「命のひと声訓練」などを実施し、認知症になっても、いくつになっても元気で安心して暮らせるまちを目指します。



小学校での認知症サポーター養成講座



オレンジリングは、
認知症
サポーターの証



命のひと声訓練の様子

介護予防にも 全力です!

介護を必要とせず、いつまでも元気に暮らしていただけるように、65歳以上のすべての方を対象に、「通いの場」などの介護予防事業を実施しています。地域の方とのおしゃべりや体操などを楽しみながら行うことが、若々しさを保つ秘けつとなります。



「いきいきふれあい活動」「ゆた〜つと元気体操」「通いの場」などを地区公民館等、市内211箇所で実施中!

利用者の声

地域の皆さんと毎回楽しみながら活動しています。参加するようになって、体の調子も良くなったような気がします。体操などで健康を維持し、いつまでも元気に暮らしたいと思います!



乗合タクシーのエリア拡大

高齢者等の移動手段を確保するため、令和元年度、豊水・睦合地区に運行エリアを拡大し、今年度は小田・梅林地区へ新たに導入しました。乗合タクシーの運行エリアの拡大により、住み慣れた地域でいつまでも暮らせるまちづくりを進めていきます。

令和元年度エリア拡大

…豊水・睦合地区

令和2年度
「いだてんタクシー」
運行開始(10月~)



…小田・梅林地区



利用者声

日頃の買い物や通院の際、いつも利用させていただいています。家の前で乗り降りできるので、買い物帰りで荷物が多い時なども非常に便利で助かっています。



障がい福祉サービスと 窓口対応の充実

障害者総合支援法や児童福祉法に基づく様々なサービスを利用者の方々の状況に応じて柔軟に提供できるよう、申請窓口での対応や相談体制を強化しています。

誰もが自分らしく暮らせるまちを目指して、今後も気持ちのいい笑顔で皆様をお迎えします。



みんなが健康で過ごせるように

がん検診を受けませんか？



玉名市民の死因の第1位は「がん」。死因の約2割を占め、若者では約3割に。そんな「がん」の治癒のカギは「早期発見」です。自分のため、そして心配してくれる周りの人のためにも、早期発見・早期治療に繋がるがん検診の受診をお勧めしています。



集団検診における がん発見者数 (令和元年度)	
大腸がん	9
肺がん	11
胃がん	1
乳がん	3
子宮頸がん	0
前立腺がん	12
計	36

令和元年度がん検診受診率：12.7%⇒目標3% (約3,000人) アップを目指します！

医療体制を強化！ 小児科24時間診療スタート！

平成29年10月、地方独立行政法人となった公立玉名中央病院は、平成30年4月に玉名地域保健医療センターと経営統合しました。その後、医師や医療従事者等の人事交流を行い、救急医療や手術の集約など医療体制の強化を図り、令和2年7月からは、待望の24時間小児診療体制をスタートしました。また、来年3月には、『くまもと県北病院』が開院し、更なる医療の充実を目指します。



24時間小児診療体制についての詳細は、公立玉名中央病院へお問い合わせください。

市民の声

小児科の24時間診療がスタートすると聞いて、小さい子どもを持つ親としてはすごく安心しました。県北病院も新しくなり開院間近ということで、これからは更に安心して生活が送れるなあと感じています。



玉名オリジナル 「KANAKURI体操」完成！

マラソン解説でお馴染みの 金哲彦 氏監修のもと、専大玉名高校と玉名女子高校の学生が振付を考えたKANAKURI体操が完成しました。

日頃からの健康増進のため、皆さんも、覚えやすいリズムにのって体を動かしましょうか？



たまな笑顔(心)宅配便



持続的で強い産業づくり

おいしい「玉名ブランド」の生産を支援!

農水産業振興のため、様々な支援をしています。農業機械等の整備補助では、農薬散布用ドローンの購入に最大60万円補助。また、漁港のしゅんせつやアサリ資源の回復に向けた取組への支援などを実施しています。時代の変化に対応した制度へと随時見直しを行いながら、生産者を応援していきます。



農業機械補助の例



- ・農薬散布用ドローン:最大60万円
- ・トラクター:最大250万円
- ・スピードスプレーヤ:最大150万円
- ・自走式動力噴霧器:15万円 など



補助金を活用して購入されたドローン



漁港のしゅんせつの様子



アサリ資源の回復に向けた取組



水路の改良工事



圃場整備の様子(扇崎・大野下地区)



トップセールス

玉名にしかない「魅力」があります



「いだてん大河ドラマ館」大盛況!

今年1月まで設置した大河ドラマ館には、全国からたくさんの方にご来場いただきました。大河ドラマ放送を契機に玉名を訪れた観光客による**経済波及効果は約11.7億円**。「いだてん」の放送と様々な取組により、全国に「金栗四三」と「ふるさと玉名」をPRすることができました。



金栗関連施設の入場者数

- ・ドラマ館…約11万7千人
- ・こころピア…約1万8千人
- ・金栗住家・資料館…約2万3千人

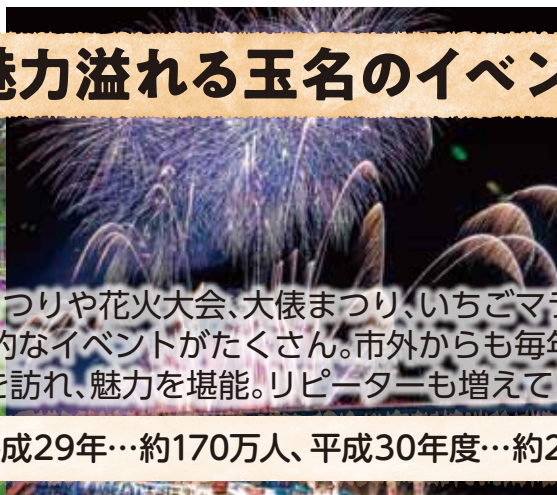


金栗イベントの例

KITTE丸の内(東京)でのイベント:3日間で**約2万人**が来場。KITTE丸の内の**過去最高**を記録!



魅力溢れる玉名のイベント



花しょうぶまつりや花火大会、大俵まつり、いちごマラソン大会など、玉名には魅力的なイベントがたくさん。市外からも毎年多くのお客様が玉名を訪れ、魅力を堪能。リピーターも増えています!

入込観光客数の推移 平成29年…約170万人、平成30年度…約224万人、令和元年度…**243万人**

未

来のために、機能的なまちを創ります

動き出す! 新玉名駅周辺整備



現在の新玉名駅周辺



将来のイメージ



令和元年度には市内に新玉名駅周辺整備推進係を新設し、進出希望企業や県等関係部局との協議、整備区域内の文化財予備調査を行いました。令和2年8月には、具体的な整備手法について定めた新玉名駅周辺整備方針を策定しました。今後は、地権者等関係者との協議を行いながら、着実に整備を進めていきます。

災

害に強く、安全安心なまちへ



日頃からの備えを!

近年、熊本地震や豪雨災害など、様々な自然災害が多発している中、玉名市では毎年防災訓練を実施。年度毎にテーマを設け、「いざ」という時のために実践的な訓練を実施しています。皆さんも、日頃から避難経路の確認や備蓄品の確保など、災害への備えをお願いします。



防災情報の発信強化のための防災無線の整備

防災無線のデジタル化に伴い、防災に関する緊急情報など防災無線で発信した情報は市ホームページや安心メールなどでも閲覧できます。また、今年4月からは「防災無線電話応答サービス」を開始。防災無線の放送を電話でも確認できるようになりました。



CHECK 玉名市防災無線電話応答サービス
TEL 0968-73-3400

安心メールへの登録をお願いします。
玉名市安心メール tama@123123.tv へ空メール



危険ブロック塀撤去への補助開始

地震等により倒壊の危険性があるブロック塀について、令和元年度より撤去にかかる費用の一部補助を始めました。

令和元年度の補助実績は24件。主に通学路沿いの危険なブロック塀を撤去できました。

これからも、通学路や避難路の安全を確保し、安心して暮らせるまちづくりを目指します。



CHECK 自宅のブロック塀が危険ブロックに該当するかどうか、玉名市HPでチェック!



たまな笑顔(心)宅配便



行政も進化します

祝!第3回 「インフラメンテナンス大賞」 優秀賞受賞

職員が考案した「橋のメンテナンス手法」が国内で高い評価を受けました。身近にあるものを使ってメンテナンスを工夫し、簡易な補修を職員自らが行うことで、経費削減にも貢献。約14億円を削減することができました。



インフラメンテナンス大賞とは

日本国内の社会資本のメンテナンス（インフラメンテナンス）に係る優れた取組や技術開発を国土交通省などが表彰するもの。

SNS(facebook)による 情報発信の開始

平成30年度から玉名市公式facebookを開設。災害発生時の緊急情報の発信やイベントの告知など、新鮮な情報をいち早くお届けしています。あなたもフォロワーになって、市の情報を広めてください！

facebookで

『広報たまな』を検索！



今年は公式LINEでの
配信も開始したよ！



QRコードを
読み取り
「友だち追加」

玉名を想う みんなでまちづくり



ふるさと納税 大躍進!

地元返礼品事業者の協力で、玉名市へのふるさと納税の寄付額が増大！特産品であるトマトやイチゴ、みかんをはじめ、多くの返礼品をご用意。全国各地の玉名を想う「玉名ファン」の皆様へお届けしています。



楽天ふるさと納税



さとふる

ふるさとチョイス
あなたの意思をふるさとに

ふるさと納税寄付額の推移

平成29年度…約3千万円

平成30年度…約7千2百万円

令和元年度…約4億4千万円



フードバンク玉名について (株)日本海水と協定締結

令和元年9月、株式会社日本海水と「フードバンクの食糧支援活動」について協力協定を結びました。提供食品の品質確保など協力関係を強化し、フードバンク事業の安定した運営に繋がっています。

玉名市のフードバンク事業

自治体では、県内で唯一フードバンク事業を展開。企業等から食品を寄付してもらい、食に困っている方々へ提供しています。

「縁」での繋がり、 広がっていきます

筑波大学、文京区、箱根町との連携協定

大河ドラマ「いだてん」の放送を契機に、金栗四三氏の出身校である筑波大学やゆかりのある東京都文京区、金栗氏が創設に関わった箱根駅伝で有名な神奈川県箱根町など、様々な団体と協定を結び、PR活動などで連携してきました。今後もこの縁を大事に、更なる展開へと繋げていきます。



1. 小中学校のICT教育を推進します

全小中学校の各教室でインターネットを活用して新時代に対応した授業が実施できるよう、児童生徒1人1台のタブレット端末の整備を行います。また、いざという時の休業期間中においても、自宅でのオンライン授業に活用できます。



今後の予定

令和2年度…校内通信ネットワーク環境を整備
全児童生徒へ1人1台タブレット端末の導入



3. 女性・子ども相談室を設置しました!

子育ての不安や悩み、児童虐待、DV、離婚問題などの相談に総合的に対応するため、「女性・子ども相談室」を本庁1階、総合案内の横に設置しました。児童相談員と婦人相談員でお悩みをお伺いします。お困りの際はお気軽にご相談ください。

4. コンビニ交付サービス始めました!!

今年4月より、マイナンバーカードを利用して全国のコンビニエンスストア等で各種証明書を取得できるサービスを行っています。早速、「近くのコンビニで取得できるので便利になった」というお声もいただいています。

取得できる証明書及び利用時間

- ・住民票の写し、印鑑登録証明書、所得証明書、課税証明書、所得課税証明書、戸籍全部(個人)事項証明書、戸籍の附票の写し
- ・利用可能時間: 毎日6時30分から23時まで
(戸籍関係は平日8時30分から17時15分まで)

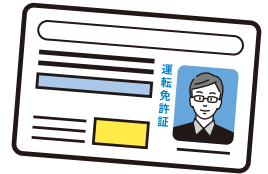


check!

コンビニ交付を利用するためにはマイナンバーカードが必要です。郵便局さんでの申請補助や、市内の写真館さんなどでは無料で顔写真を撮影し、申請をお手伝いしています。詳しくは広報たまな9月号や市ホームページをご覧ください。



2.



運転免許証の自主返納を支援します!

運転免許証を自主返納した方へ、バスICカードや乗合タクシー回数券などを支援する制度を今年6月に導入。運転に不安を感じるようになった方や運転免許証が不要になり自主返納を考えていらっしゃる方は、この制度を活用し、公共交通を利用しましょう。

支援内容

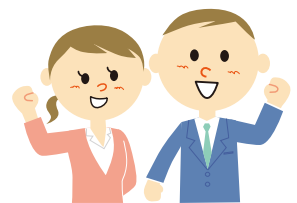


- ①3,000円分のバスICカード
- ②200円分の乗合タクシー回数券15枚
- ③300円分の乗合タクシー回数券10枚
- ④500円分のタクシー回数券6枚



5. 玉名の企業を応援します!

玉名市内で新設・増設等による事業拡大や用地取得などを行う地場企業を支援するため、地場企業支援奨励金を創設しました。これからも、玉名で頑張る地場企業の皆さんを応援していきます。



地場企業支援事業の内容

対象: 製造業施設、運送業施設、宿泊業施設
・事業拡大への支援 ・雇用拡大への支援
・用地取得への支援 ・合併処理浄化槽設置への支援



6. 学校跡地に 民間事業者の活力を



玉陵校区の旧小学校跡地について、民間事業者の活力やノウハウ、創意工夫を活かした提案を広く募り、魅力ある跡地活用を目指します。これまで、子どもたちの笑顔があり、地域の中心だった旧小学校跡地。今後は地域との連携のもと、新たな形で地域を活性化する場所になっていくことになります。

跡地の状況

- ・旧玉名小跡地…くまもと県北病院
- ・旧石貫小跡地…文化財保管施設として検討中
- ・旧三ツ川小跡地…老人ホーム・デイサービス等福祉事業他
- ・旧小田小跡地…居宅介護支援事業、宅配給食事業等総合福祉事業
- ・旧梅林小跡地…選定中 ・旧月瀬小跡地…選定中
(令和2年10月12日現在)



7. 市民会館、 新たなステージへ



今年6月、新市民会館が開館しました。大ホールはよりグレードアップし、新たな魅力として、多様な用途に使用できるマルチホールを備えています。コンセプトはこれまでと同じ「市民が主役」。文化振興の拠点として、市民の皆様にも愛される施設を目指します。



市民会館の魅力が詰まった
PVが見れるよ



8. 光ブロードバンド 市内全域への整備

玉名市の一部地域で光インターネットサービスが利用できない地域があったため、令和元年度に光ブロードバンド未整備地区への整備を実施。令和2年春より玉名市内全域で光インターネットサービスを利用できるようになり、未整備だった地区の生活の利便性の向上と企業誘致の立地条件向上へ繋がりました。



- 既整備済みエリア
(光インターネットサービス開始済み)
- 令和元年度整備エリア
(令和2年春光インターネットサービス開始)

利用者の声

光インターネットサービスが使えるようになったことで、通信速度が速くなり、ストレスなく快適にインターネットを利用できるようになりました。新型コロナウイルスの影響で在宅ワークの機会も増えたので、光インターネットを使えるようになって非常にありがたいです。

9. 総合防災マップの作成

これまで災害別だった4つのハザードマップを1冊にまとめ、さらに市内における最大の被害想定や、災害が起こった時に必要となる避難情報などを盛り込んだ総合防災マップが完成。自分の住む地域の災害に関する情報を知ること、日ごろからの備えにご活用ください。



10. 人権啓発と児童健全育成の拠点完成!

旧伊倉隣保館を大規模改修し、伊倉児童センターを集約した「伊倉ふれあいセンター」が今年4月にオープン。子どもからお年寄りまで幅広い世代が集う複合施設として、1階の隣保館では人権啓発や相談事業、2階の児童館では健全な遊びの提供や各種催しを実施しています。また、貸館も行っておりサークル活動などでの施設利用も可能です。

伊倉ふれあいセンター

場所：玉名市伊倉北方3230-5 (旧伊倉隣保館)

電話：73-2221

※貸館利用については事前申請・使用料が必要です。



11. 笑顔をつくる 地域振興補助金の創設

多様な地域課題に対応できる地域づくりを目指し、令和2年度に「笑顔のまちづくり応援事業補助金」や「提案型協働事業補助金」を創設。まちづくりの主役である市民の皆様の主体的な活動を支援することで、市民の皆様が思い描く玉名を一緒に創り上げていきます。



「笑顔のまちづくり応援事業補助金」

いつまでも笑顔で暮らせる地域を目指す市民活動団体のまちづくり事業の経費の一部を補助

「提案型協働事業補助金」

地域課題を市民活動団体の視点で解決する事業に、市と協働で取り組む経費の一部を補助

12. 新技術導入しています

令和2年度、AI-OCRの導入に向けた実証実験や、Web会議の導入など、新たな技術の導入を進めています。Society5.0や5Gの時代へも対応した、効果的かつ効率的な行政運営を進めます。



AI-OCRって?

規定のルールに従って文字認識を行うOCRに、AI(人工知能)技術を加えたものです。OCRにAIを組み合わせることで、文字認識率が向上し、データの整理が容易となります。

society5.0って?

AIやビッグデータなどの新たな技術を、あらゆる産業や社会生活に取り入れてイノベーションを創出し、社会的課題を解決する新たな社会のことです。

コロナ特集「新しい生活様式を実践しよう」

新しい生活様式の実践例

一人ひとりが日常生活の中で「新しい生活様式」を心がけることで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐことができます。自分や家族、友人の命を守るために、新たな生活様式の実践をお願いします！



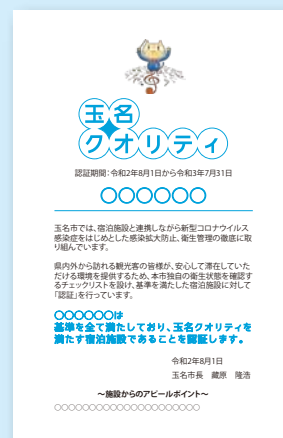
Withコロナ時代の新たな取組紹介

今年は、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、私たちの生活は大きく変化しました。そして、これからは新型コロナウイルス感染症とうまく共存していくことが求められています。玉名市でもwithコロナと言われる新しい時代に合った施策を推進していますが、今回は観光面での新しい取組「玉名クオリティ認証制度」をご紹介します。

玉名クオリティ認証制度とは

新型コロナウイルスの感染拡大防止策を徹底したうえで、衛生環境が整った観光地であることをアピールし、さらなる誘客につなげるための取組です。市内の宿泊施設に玉名市独自の衛生状態を確認するチェックリストを設け、基準を満たした宿泊施設に対し「玉名クオリティ認証」を配布し、掲示してもらうことで、県内外から訪れる観光客へ安心して滞在していただける環境を提供します。

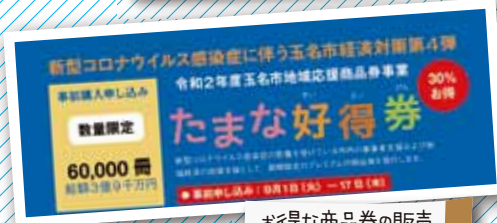
※玉名市内の宿泊施設については、すべての施設でチェックリストの項目を満たす感染拡大防止策を実施されており、玉名クオリティとして認証しています。



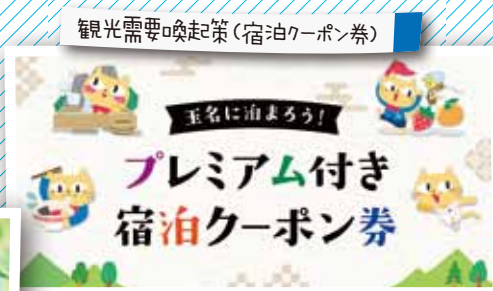
その他のコロナ対策の取組を紹介します



市民限定！飲食・宿泊等クーポン券



お得意な商品券の販売



市民会館ライトブルー（医療従事者の方等へ感謝をこめて）



サーモグラフィカメラ導入（市民会館）

玉名市歌×MICA CD配布中!!

平成30年10月3日、合併により玉名市が誕生して13年を記念して、「我が故郷 玉名」を玉名市歌に制定しました。

この歌は、玉名市民音楽祭のテーマソングとして平成19年につくられたもので、その後、いろんなところで、多くの市民に歌い続けられています。

毎日正午には、「我が故郷 玉名」を歌うMICAさんの澄み渡る歌声が市内全域に流れていますよ。



「我が故郷玉名」

1

湯けむりただよ 玉名の街は
小岱の山に見守られ
みんなの笑顔があふれます
心安らぐ 湯の街よ
永遠につながる故郷玉名



2

人情あたたか 玉名の街は
有明の海に見守られ
みんなの笑顔があふれます
心安らぐ 花の街よ
永遠につながる故郷玉名



3

自然いっぱい 玉名の街は
菊池の川に見守られ
みんなの笑顔があふれます
心安らぐ 歌の街よ
永遠につながる故郷玉名
みんな大好き 故郷玉名



市民と市長のWeb会議 参加団体募集

随時募集中

市長が直接市民の皆さんと意見交換を行うことにより、市民の皆さんと行政の相互理解を深め、協働のまちづくりを積極的に進めることを目的に「市民と市長のWeb会議」を開催します。詳しくは市ホームページをご覧ください。



市民の皆様へ

私は、平成30年12月に、多くの市民の皆様の「こんな玉名市であって欲しい」と願う希望や意見をもとに、10年後の本市の将来像をお示しした「笑顔をつくる10年ビジョン」を策定いたしました。そして、その将来像の実現に向けた施策の推進に際しましては、ご協力を賜りました議会、各種団体、そして市民の皆様へ心より感謝申し上げます。



この度は、広報たまな特別号として「たまなし笑顔宅配便」を発刊し、その取組の進捗状況と今後の取組について報告をさせていただきます。

現在のコロナ禍において、かつての日常を取り戻すことが困難な現状ではありますが、命を守るための感染防止対策と生活を守るための地域経済活動の両立を最優先に努めながら、市民の皆様の笑顔を守るために10年ビジョンの推進を図ってまいりますので、引き続き、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

玉名市長 藏原 隆浩

